

番号	3 - 12	申請者	4階病棟 看護師 廣田 弘美
<p><b>【審査申請課題】</b>  地域包括ケア病棟看護師とリハビリテーション科との連携の現状と今後の課題を明らかにする  ～転倒予防の一環としての合同カンファレンスを導入して～</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b>  当院の地域包括ケア病棟では、整形外科患者がほとんどを占めている。退院を目前とする患者がほとんどで、看護師は積極的にADLの拡大を目標に患者と関わっている。その中で転倒転落を発生させないことが重要となってくる。転倒することで骨折や、その患者のADLの低下を招き、さらには退院目前であったにも関わらず、さらなるQOLの低下につながってしまう。当病棟の転倒件数は、R2年4月から現在まで16件発生しており、入院患者の年齢層は平均69歳となっている。その中でも、転倒による骨折が1件発生しており、この時は事前に理学療法士の日々の記録にはリハビリ中にふらつきがあるとの情報が記載されていたが、看護師との情報の共有はされていなかった。このような事例があり、R2年7月より転倒予防の一環として、リハビリテーション科との合同カンファレンスを導入し、記録に残し看護計画に反映させ、情報共有している。実施状況はR2年7月：61%、8月69%、9月85%となっており、実施率は上がっているが、まだ理学療法士の判断で歩行補助具が変更になっていたり、合同カンファレンスが記録に残っていない現状がある。今回、自病棟でも転倒リスク要因の理解を深めるためにも、リハビリテーション科と病棟看護師の連携状況の現状と課題を明らかにし、今後の転倒予防につなげたいと考える。</p>			
審査結果	承認 ( 令和3年5月14日 )		